

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Nico		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 15日		2025年 1月 29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21 (回答者数)	15
○従業者評価実施期間	2025年 1月 15日		2025年 1月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・送迎を行っている。	送迎時に学校の先生方とその日の様子をお伺いし、日々の様子を聞くことで、来所時の声掛けやその日の対応を子どもの状況に合わせる事ができます。ご自宅送迎時にも、保護者様と直接お話する事で、情報共有やご家庭での様子を把握できるように取り組んでいます。	送迎時のお話しできる時間に限りがあるため、アプリなども視野に入れて、保護者様と何時でも情報共有を行えるしくみを検討しています。
2	・一軒家で自宅にいるような環境設定の中で支援を提供している。(アットホーム)	子どもたちが来所した時に、「ただいまー」と安心して入れる環境の中で、子どもたち主体の活動やイベント、個々に合った支援を提供できるように取り組んでいます。	戸建てだからこそできる環境設定の見直しや、支援内容の見直しを図り、子どもたちが更に充実した過ごし方ができるように取り組んで参ります。
3	・子どもに合わせた目標設定。	短期・長期目標を職員が記録時に把握できるように個々の記録へ記載し、目標にあった支援の提供がおこなえているか確認できるようにしています。また段階的に目標が適切なものか職員間で話し合い、目標の見直しや適切な支援の提供が行えるように取り組んでいます。	個々に合った支援を提供できるように、会議や日々の話し合いの中で、適切な目標設定ができるように取り組んで参ります。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・一軒家のため活発に動く活動はできない。段差もあり安全に配慮すると動く範囲が限られてしまう。	構造が複雑なためドアを開けて一つの空間を広くできない。	大きな改築はできないため、定期的に公園にて体が動かせるようにします。
2	・送迎範囲に限りがあり、要望にお応えできない事がある。そのため受け入れ範囲が限られてしまう。	送迎時間が重なることが多く、送迎車も遠くまで行けるほどの台数がない。	人員と送迎車を増やす必要があるが、現時点では難しい。送迎範囲を周知し、範囲外のご利用については保護者様送迎でお願いしていく。
3	・紙媒体(連絡帳・お知らせ等)の物は見ていただけていない事がある。	お仕事やご家庭がお忙しい保護者様にとって、紙媒体を見る時間があまりないのかなと感じる。また連絡帳などは持ち歩くことはないと思うため、隙間時間に簡単には見れないと思う。	携帯で何時でも見ていただける仕組みづくりを取り組んでいく。